

郷土芸能祭出演リスト

第5回（さつまフェスタでの開催 於：薩摩総合運動公園グラウンド）

番号	郷土芸能名	出演団体	説明
1	金山踊 （出演2回目）	時吉区 時吉区金山踊保存会	寛永17年から19年にかけて、藩の家老職にあった宮之城島津家第4代当主久通が、藩財政の窮地を救うため金鉱探しに秀でた山伏（技術者）を雇い入れ、穴川沿いから長野（永野）・山ヶ野まで金を探させた様子を表現したのがこの踊りだと伝えられています。 右手に錫杖、左手に山刀を持ち、「後ろは山、前は川」の文句を繰り返し唄いながら踊ります。平成17年1月に、町の無形民俗文化財に指定されました。
2	鷹踊り （出演2回目）	鶴田区 鶴田大角鷹踊り保存会	鶴田大角の鷹踊りは、旧薩摩町から伝承した踊りですが、本家の踊りとは若干の違いがあります。この踊りは、昔、宮之城の殿様が鷹を使って狩りに出掛けたとき、鷹を手に乗せて、「鷹に餌をやれ」と、合図をすると、奥方が、餌を棒の先につけて、鷹に餌を差し出すときの所作を踊りにしたと伝えられ、餌差し踊りと呼ぶ地域もあります。
3	湯田秋津島舞 （出演2回目）	湯田区 湯田秋津島舞保存会	島津義弘公の時代にはじまったといわれ、豊作を願って、地区の産土神八幡神社の大祭に奉納するようになりました。一時途絶えたものの、昭和57年に29年ぶりに復活して以来、毎年披露されています。